

西日本機械金属企業年金基金 基本ポートフォリオ

株式の内、上場株式投資を資産の10%±10%とする

外国為替比率を資産の10%±10%とする（他は為替ヘッジ）

オルタナティブ投資は、各資産の内枠（代替）として位置づけ

投資期間	年金支払時期	運用方針	戦略例	目標 利回り	資金配分 割合
短期	5年以内	元本確保と資金流動性を優先	一般勘定 短期債、現金	1%	20%
中期	5～10年	利回りのブレの少なさを重視 分散も考慮	グローバル債券 リスク抑制型	3%	20%
長期	10～15年	長期的な値上がりと分散を重視	グローバル株式 不動産、PE	5%	45%
超長期	15年以上	超長期的なグローバル市場の 構造変化に着目	新興国、環境 インフラ	7%	15%

世界の構造変化に対する視点（2008年度制定）

1. 日本全体としては、このままでは長期衰退か？立ち直れるのか？
2. 世界経済成長の鈍化と激しいインフレとデフレの混在（内需デフレと輸入インフレ）
3. Greater China、欧州、米州、アラブ、ロシア、アジア（China以外）の6経済ブロックと資源国（ブラジル、豪州、南ア）
4. キーワードは、エネルギー、食糧、水、また、国力増大の二つの視点（生産性向上×人口増、国・民間の貯蓄率）
5. リスクは、温暖化（発展途上国抑止）とブロック経済（保護主義）からの紛争、および国家財政破綻

超長期視点

1. 実物&ターゲット資産
エネルギー、金、食糧、水、資源に関する企業
2. 相対的に高い成長国と地域
3. 財務的に強い国（+資源国）の債権・債券

制定から10年以上経過

長期運用実績

長期方針	年平均	累積
10年間	7.11%	95.12%
注) 前納収益含む		

令和2年度 戦略分散目標

1. 1 戦略10%上限

2. 新戦略は資産運用委員会審議

2019年委員会合格

12. 代替イールド

16. 特殊ファイナンス

25. 金融セクター特化

2020年委員会合格

17. 貿易金融

18. 転換社債裁定

資金追加は、資金繰りに応じて随時

戦略分散 令和2年度末目標

	委託戦略	投資地域	期間別	リスク水準
	短資	日本	1短期	国内債券
1	日本事業債裁定	日本	1短期	国内債券
2	短期米国事業債	米国	1短期	国内債券
3	短期欧州事業債	欧州	1短期	国内債券
4	新一般勘定	日本	1短期	国内債券
5	債券系FOF	グローバル	1短期	国内債券
6	物価連動国債	日本	1短期	国内債券
7	短期新興国債	グローバル	1短期	国内債券
8	低リスク米国債	米国	1短期	国内債券
9	モーゲージ債MN	米国	2中期	外国債券
10	マルチ戦略	グローバル	2中期	外国債券
11	債券為替マクロA	グローバル	2中期	外国債券
12	代替イールド	米国	2中期	外国債券
13	債券為替マクロS	グローバル	2中期	外国債券
14	医薬品特許権	グローバル	2中期	外国債券
15	不動産デット	米国	2中期	外国債券
16	特殊ファイナンス	米国	2中期	外国債券
17	貿易金融	アフリカ	2中期	外国債券
18	転換社債裁定	グローバル	2中期	外国債券
19	PE FOF	グローバル	3長期	外国株式
20	中国株LS 1	中国	3長期	外国株式
21	インドインフラ	インド	3長期	外国株式
22	マルチ戦略PE	グローバル	3長期	外国株式
23	アジアPE FOF	アジア	3長期	外国株式
24	中国株LS 2	中国	3長期	外国株式
25	金融セクター特化	グローバル	3長期	外国株式
26	ディストレス	グローバル	3長期	外国株式
27	日本小型株	日本	3長期	外国株式
28	外国株Hパッシブ	グローバル	3長期	外国株式
29	総合保険	グローバル	3長期	外国株式
30	初期セカンダリーPE	グローバル	3長期	外国株式
31	セカンダリーPE	グローバル	3長期	外国株式
32	HF株主	グローバル	4超長期	外国株式
33	天然資源	グローバル	4超長期	外国株式